

令和3年9月30日

浜田市長 久保田 章市 様

浜田市議会 福祉環境委員会

委員長 柳楽 真智子

## 子育て支援策に関する要望書

福祉環境委員会では、人口減少問題が深刻化するなか、出生数の減少に歯止めをかけるための子育て支援策について、本年2月に要望書を提出させていただきました。その後も引き続き保護者との意見交換を実施するなど、調査研究を行ってまいりました。

来年4月、新たにスタートする「子育て世代包括支援センター」の役割は大変重要であり、相談体制の充実が求められております。

また、孤立しない・させないための地域支援も必要と考えることから、以下の2点について要望をいたします。

### (1) 子育て世代包括支援センターを拠点とした相談体制の充実について

これまでも子育て世代包括支援センターは本庁の子育て支援課内に設置されていましたが、市民にしっかりと周知されていないと感じています。しっかりとした相談体制の整備と周知が必要と考えます。

- ① 開所までに、新施設が担う役割などをわかりやすくまとめた冊子等を作成し、子育て世代だけでなく、広く市民に周知されたい。
- ② 妊娠期から18歳までの子どもとその保護者の多岐にわたる相談に対応するために、社会福祉士や精神保健福祉士、臨床心理士・スクールカウンセラー・教員経験者などの専門職を配置されたい。

### (2) 地域住民による子育て支援の充実について

子育て世代の核家族化などにより、孤立化が懸念されています。子どもや保護者にとって、身近な場所に頼れる人がいることは重要であり、浜田市が目指す協働のまちづくりの理念と合致するものと考えます。

- ① 既存事業であるファミリーサポートセンター事業や産前産後家事支援サポーター派遣事業について、利用が少ない原因の分析を行い、より利用しやすいものになるよう努められたい。
- ② 例えば認知症サポーターのように、研修を受けた方に子育て相談員（サポーター）になっていただくような制度を設け、地域で子育てをするという機運を高め、支援体制の充実を図られたい。